

# 安来市まちづくりワークショップ 開催レポート

2025.05.11sun



## 開催概要

目的	対話を通じて若者・子育て世代の価値観を深掘りし、意見を総合計画の基本構想や今後の重点事業の検討に反映させる。
日時・会場	令和7年5月11日（日） @安来市役所 防災研修棟
プログラム	<p>10:00 開会</p> <p>10:10 アイスブレイク</p> <p>10:15 やすぎクイズ</p> <p>10:25 グループワーク①「安来の良いところ・自慢できるところを教えてください」</p> <p>10:50 グループワーク②「今から10年前には想像していなかった2025年に起きていることは何ですか？」</p> <p>11:10 総合計画に関する説明</p> <p>11:20 グループワーク③「10年後、あなたはどこでどんな暮らしをしたいですか？」</p> <p>11:35 グループワーク④「若者・子育て世代が安来市で暮らし続ける・Uターンしてくるために必要だと思う取組は何ですか？」</p> <p>12:40 閉会</p>
参加者	<p>51名</p> <p>うち安来市役所職員 10名</p> <p>島根県立大学生 9名（松江キャンパス高須ゼミ）</p> <p>【年代内訳】</p> <p>10代：1名 / 20代：18名 / 30代：18名 / 40代：10名 / 50代：2名</p>





## ワークショップの様子

### 【グループワーク③】10年後、あなたはどこでどんな暮らしをしたいと思いますか？

暮らし	仕事	ライフワーク
<ul style="list-style-type: none"> <li>家族と休日に遊ぶ</li> <li>安心して子育て</li> <li>ゆったりと生活</li> <li>結婚して家庭を持つ</li> <li>健康でいたい</li> <li>安来市に家を建てたい</li> <li>生活に困らない程度の貯金</li> <li>仕事と趣味の両立</li> <li>隠居生活</li> <li>夫婦で旅行に行きたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「健康」に関する事業</li> <li>起業して社会貢献</li> <li>SE・ITエンジニアとして活躍・キャリアアップ</li> <li>民宿を経営したい</li> <li>カフェの経営</li> <li>リモートワークで好きな場所で仕事</li> <li>生活を支えるための仕事</li> <li>現在の状態を維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>趣味を楽しむ</li> <li>同じ目標を持つ人と高め合えるコミュニティ</li> <li>家族でキャンプ</li> <li>新しいことにチャレンジできるコミュニティ</li> <li>若者・女性の活躍支援</li> <li>趣味にも時間とお金を費やす</li> <li>音楽や文化的な活動</li> </ul>



### 【グループワーク④】若者・子育て世代が安来市で暮らし続ける・Uターンしてくるために必要だと思う取組は何ですか？

雇用創出	IT企業の誘致促進／工業高校の新設で製造業の担い手確保
交通インフラ整備	高速道路の無料化／無料バス／自動車の維持費補助
子育て支援	家族で遊べる場／お父さんコミュニティ／移住施設
Uターン促進	学費支援（大学・専門学校）
チャレンジ支援	女性活躍支援／起業支援／意見が言える場
情報発信・情報共有	情報共有の機会・コミュニティ（特に10～20代）



## 参加者の声（アンケート）

### ■次期「総合計画」のコンセプトについて、大切にすべき点や、改善に向けた意見・提案など

- ・ 「子どもを産みたい！育てたい！」と感じる市であってほしい
- ・ 色々なことにチャレンジできるというワクワク感があるまちであってほしい
- ・ まちへの愛着を大切にしたい
- ・ 目指すまちの姿の理想と現実に大きなズレを感じる
- ・ どんな市民がどんな暮らしをしてどんな人生を過ごす人が増えてほしいか？
- ・ 全世代に寄り添った計画であってほしい
- ・ いくら良いものを作っても発信力が必要
- ・ 小さな拠点は大切
- ・ やりたい仕事に就ける、起業できる
- ・ 「～が重要」「～が大切」といった概論に終始せず、「明日、具体的に何をするか」まで落とし込んで実行することが大切
- ・ 現実的でワクワクするものになって欲しい
- ・ 増やすべきことなどプラスの面だけでなく、生活をマイナスにしないという観点も大切
- ・ 「つながり」を大切にされている点が良い
- ・ 住人の声や思いを反映させた計画等にしてもらいたい
- ・ 若者が市に残る、出ない結果のみに焦点が当たりすぎている印象がある。何故残るか？出ないのか？

### ■グループワークについて、いいなと思った取組、推進してほしい施策や、印象に残っていることなど

- ・ 空き家や適正配置により使用されなくなった学校を企業や就業の場にかえるようにすると良い
- ・ 高速道路無償化、車維持に関するお金支援、娯楽施設
- ・ 子育て世代への居住支援
- ・ 若い方々の働ける場所というか空間づくりができれば良いなという意見が多かった
- ・ 病気になった子どもを預けることのできる施設の充実
- ・ 子育て支援（1人目から保育料無償化、子育て世代には子1人につき月2kg米を配る、オムツ・ミルクを無料で配達、ベビーシッター・家事代行のチケット配布（補助）など）
- ・ 保育料や家賃助成も大切だけど、安来らしさが子どもの地元愛にも繋がる
- ・ Uターンを条件とした学費支援
- ・ 高校生や中学生を対象に同じようなことがやられたらいい
- ・ 今回比較的ポジティブな方が多かったので無作為にネガティブな方も入れてより求められている事を聞くと本当にまちに無関心な市民に関心を持ってもらえる
- ・ 年齢がバラバラだったので、それぞれの年代での見方で意見のやりとりができてよかった
- ・ 安来市マップの活用は、自分の居住地外の地域のことも知るきっかけになった
- ・ 昔～現在～未来という時系列順にいろんなテーマについて話のできたので、今までの経験を糧に未来のことを考えることができた